

山梨県茶品評会

6月13日(木)「平成30年度山梨県茶品評会」が総合会館で行われました。

県内の茶栽培農家から39点が出品され、外観、香気、水色、味の順で審査が行われ、15日(金)に行われた褒賞授与式で次の方々が表彰されました。

- 一等賞第一席 (農林水産省関東農政局長賞)
一瀬辰 治さん(元 徳)
 - 一等賞第二席 (山梨県知事賞)
まるわ茶園(元 徳)
 - 一等賞第三席 (山梨県議会議長賞)
望月良 郎さん(陵 草)
 - 一等賞第四席 (山梨県農政部長賞)
青山勝 彦さん(内船中)
 - 一等賞第五席 (山梨県峡南農務事務所長賞)
田中 稔さん(千 島)
- おめでとございます。



審査の様子



まるわ茶園 一瀬辰治氏

建設組合連合会 甲南支部の皆さん ありがとうございます！



さあ、これで大丈夫



6月17日(日)、山梨県建設組合連合会甲南支部の皆さんが、「住宅デー奉仕活動」を行い、ひとり暮らしの高齢者住宅等の補修、修繕など高齢者が普段の生活で不都合を感じていた箇所を手際よく改修し、安心と暮らしやすさを提供しました。

皆さん、ありがとうございました。



蒙軒学舎 展示室だより①

南部町歴史資料室準備委員会は、道の駅「なんぶ」の南部氏展示室「^{なんぶ しゃかた}南部氏館」に続き、幕末から明治に生きた近藤喜則氏に関する展示室（アルカディア文化館2階）の本年度末開設に向けて調査研究を進めています。

今年は明治維新150年の節目の年にあたり、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映や記念事業など、明治という時代が注目されています。その江戸から明治という激動の時代に、若者の教育、住民の医療、地域の殖産興業、山梨県政などに多大な足跡を残し、南部の地から日本の未来を考え、実行した近藤喜則氏の業績を展示するということは、大いに価値のある文化事業です。

また、南部町に住む私たちにとってふるさとの歴

史の検証であり、発見であり、大きな学びにつながるものと思います。

現在、4人の委員により調査・研究を進めていて、これから5回にわたり業績やエピソードなどを「展示室だより」に掲載してまいります。



甲府市愛宕山神社にある近藤喜則(椎山翁)顕彰碑

災害への心構え！ 避難所運営图上訓練を実施



6月26日(火) 睦合地区(総合会館)
6月28日(木) 栄地区(総合会館)
7月3日(火) 富河地区(改善センター)
7月5日(木) 万沢地区(改善センター)
大規模災害が発生した場合に備え、多くの被災者が避難生活をおくる避難所の開設・運営を想定した、避難所運営图上訓練を実施しました。4日間の訓練には各自主防災会長をはじめ、防災会役員、消防団・町職員等が参加しました。訓練では、災害の程度・被災状況の条件を提示し、避難者の誘導・配置、避難所のレイアウト等について議論を交わしながら行いました。毎年役員等が代わる中、役員だけでなく地域に住む皆さんで地域の防災情報を共有し合い、災害時にあわてず冷静にすばやく適切な対応ができるようにしていただければと思います。



防災意識が高まりました

全席シートベルト・チャイルドシート着用重点期間

〈年間交通安全スローガン〉 乗せるのは 君の宝(かぞく)と その未来(あした)

重点期間 7月1日(日)～8月31日(金)までの2か月間

7・8月の2か月間を重点期間とし、「全席シートベルト・チャイルドシート着用徹底運動」を実施しています。平成29年度県内一般道における運転席・助手席のシートベルト着用率は全国平均を下回っていて、後部座席のシートベルト着用率は全国平均より高いものの、38.9%と低い状況となっています。また、チャイルドシートの着用率は、57.5%と、全国平均64.1%を大きく下回っていて、自動車の乗車中における乳幼児の安全性が危惧されます。

シートベルト・チャイルドシートの着用は交通事故発生に際して、被害の軽減の高い効果があります。全ての座席のシートベルト、チャイルドシートの着用を徹底しましょう！

平成29年度 山梨県内一般道におけるシートベルト着用率(警察庁・JAF全国調査)

運転席	98.1%	(全国平均 98.6%)	全国第39位
助手席	94.3%	(" 95.2%)	全国第31位
後部座席	38.9%	(" 36.4%)	全国第17位
チャイルドシート	57.5%	(" 64.1%)	全国第36位

☆平成30年度『夏の交通事故防止県民運動』実施☆

期間：7月21日(土)～8月20日(月)までの31日間

重点目標

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 高齢者と子供の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 3 二輪車の交通事故防止
- 4 自転車の安全適正利用の推進

児童、生徒等の夏休みと夏の行楽シーズンが重なり交通事故が発生しやすくなる夏季において、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を促し、交通事故の防止を図ることを目的として夏の交通安全事故防止県民運動が実施されます。暑さにより注意力が散漫になり、事故につながる可能性があります。体調を整え無理な運転は控えましょう。